



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

【2022~2023主題】

国際会長 Samuel Chacko (India)

主題: "Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT"
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

スローガン: "BEYOND SELF and BE THE CHANGE" 「自己を超えて、変化を起こそう」

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen (Taiwan)

主題: "Elegantly Change with New Era" 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

スローガン: "Doing It Right Now" 「今すぐ実行を」

東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)

主題: "Let's act now for the future" 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

スローガン: "Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!"
「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを!」

あずさ部長 後藤 明久 (富士五湖)

部長主題: 『ワイズへの参加と交流を楽しもう』

副主題: とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう

東京武蔵野多摩会長 中村 吉孝

会長主題: 「未来に向けて、まずは会員増強から」

THE Y'S MEN'S CLUB
TOKYO
MUSASHINO TAMA



東京武蔵野多摩

CHARTERED 1963

2022年

8月の聖句

平和を実現する人々は幸いである (マタイによる福音書 第5章9節)

8月例会の予定

強調月間: 戦略2032

日時: 8月14日 (土)

15:00~17:00

会場: カフェネージュ (新高円寺)

〈プログラム〉

司会: 中村会長

* 開会挨拶、点鐘: 中村会長

* 聖句朗読・説明: 江夏

* ゲスト、ビジター、メンバー紹介

* 納涼例会

* ハッピーバースデー

* 連絡、報告、にこにこ

* 閉会挨拶、点鐘: 中村会長

7月例会報告

出席者	10名
在籍者	10名
メーキャップ	0名
出席率	100%
ゲスト (リーダー)	0名
ビジター	0名
メネット・コメント	0名

* 8月のハッピー・バースデー

4日 中村

ファンド関係

にこにこ	今月度	累計
にこにこ	5,000	5,000
2次会にこにこ	0	0
メルカリ	2,100	2,100

IBC

Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)

Seoul Han Yang Club (韓国)

DBC

神戸学園都市ワイズメンズクラブ



[ワイズメンズクラブ紹介ページ](#)



[東京武蔵野多摩クラブWEBページ](#)



[Facebookページ](#)

【2022-23 クラブ役員】

会長 中村 吉孝
副会長 小林 文彦
書記 山口 直樹
会計 宮内 友弥

日々之口実

小林文彦

先日、午前中通院、午後の遅い時間に人と会う用事があった。こういう日に限って病院の検査、診察は順調に進み、早めのお昼を食べても次の約束までは4時間近く間が空く。一度家に戻っても直ぐに出掛ける事になるので、どうしたものかと思案し「そうだ映画でも観るか！」と思い最初に浮かんだ『トップガン』の時間を調べたが、中途半端で全編を見られないと判り、他に何かないかと探して出てきたのが『PLAN 75』。どんな映画かわからないが、ウインド ショッピングしてスタバで時間つぶしするよりは、1200円で2時間ゆったり出来そうなので、入場券を買って席についた。平日の映画館はどんな感じなのかと周りを見渡すと、自分を含めシルバー層ばかり。平日だからなのか、若者はネットで済ませわざわざ映画館まで足を運ばないのか、などと思いを巡らせている内に映画が始まった。

映画の内容はシリアスで、超高齢化社会を迎えた日本が75歳以上の高齢者を対象に、自らの生死の選択権を与えるという法案を国会で通し、地方自治体は専門部署を置き、安楽死を希望する高齢者の募集を行う。市役所の福祉課の壁にはPLAN 75のポスターが張られ、生活保護の申請に訪れた高齢者や、街中の炊き出し会場を訪れた独居老人など社会的弱者にPLAN 75の勧誘を勧めていく。PLAN 75に応募した者は、収容施設の順番待ちの間の家賃と一時金が政府から支払われる。施設が空くと迎えが来て収容され、麻酔と点滴で安楽死が実行される。

物語では応募者の履歴を見た自治体担当者が、数十年間音信不通だった伯父と知り、制度の不条理さに思いを巡らし施設から脱出させる。また、主人公の倍賞千恵子は機械の故障で蘇生し、改めて生きていく事に希望を見出す。

地球人口が80億人に迫ろうとし、今年中にインドが中国を抜いて1位になると報じられているが、いずれ高齢化社会が環境問題同様に地球規模の問題となった時、とくに独裁的な国家はどのような対策を取るのか示唆するような内容の映画であった。

▼2022-2023年度 あずさ部 第1回

「うぶごえが聞こえる評議会」参加報告

2022年7月16日（土）13：00－16：00

クラブからの参加者：板村、中村、宮内、山口

東京YMCA山手コミュニティーセンターにて「第1回 あずさ部うぶごえが聞こえる評議会」が開催されました。「うぶごえが聞こえる」の名は、甲府に新クラブ設立されることを踏まえた命名でした。当日は50名を超えるメンバーの参加で盛会でした。長谷川直前部長から後藤部長への部長引継ぎ式の後、後藤部長からは「コロナに負けずリアルのみでの評議会開催にこだわった」との力強い挨拶がありました。評議会の議案は3点（昨年度決

算報告、監査報告、次々期部長クラブ推薦）で、すべての議案が承認されました。次々期部長クラブは甲府クラブに決定されています。部会後の懇親会では、軽食を取りながらクラブアピールなどが行われ、皆さん大変盛り上がっていました。「うぶごえが聞こえる評議会」として、当日、後藤部長から新クラブのチャーターに奔走されている仙洞田さんに、「赤ちゃんへの金一封」が手渡されました。これは、甲府から採れた桃を取り寄せ、評議会参加者に購入してもらった益金を新クラブのために使っていただくという趣旨のものでした。私もこの桃を購入し、後日、大変美味しくいただきました。ホストクラブの東京西クラブの皆さま、楽しい評議会をありがとうございました。

(中村吉孝)



▼理事就任式・引継ぎ式

2022年～2023年度東日本区理事就任式・引継ぎ式が下記の通り開催された。

日時：2022年7月10日（日）11:00～12:00

場所：山梨YMCA

出席者：35名（当クラブ：板村）

司会・司式：田中博之

奏楽：荻野優子

開会挨拶/出席者紹介：田中博之

ワイズソング：一同

理事就任式

新理事経歴紹介：田中博之

式辞：田中博之

宣誓：佐藤重良

就任挨拶、決意表明：佐藤重良

区役員、各委員長紹介：佐藤重良

祝辞：山梨YMCA野々垣健五理事長

引継ぎ式

理事バッジ引継ぎ：大久保知宏 佐藤重良

理事メダリオン引継ぎ：大久保知宏 佐藤重良

元理事バッジ装着：佐藤重良 大久保知宏

区会計引継ぎ：鈴木伊知郎 荻野清

リジョン旗引継ぎ：大久保知宏 佐藤重良

理事ホームクラブバナー引継ぎ：大久保知宏 廣瀬健

区大会バナー引継ぎ：鈴木伊知郎 荻野清

退任挨拶：大久保知宏

YMCAの歌

閉会挨拶：田中博之



各式は、本来であれば6月4日（土）～5日（日）に開催された第25回東日本区大会で行われるべきものであったが、新型コロナウイルス感染症第7波の拡大その他事情により、参加者を限り対面で実施し、その状況を録画で配信することとなった。

司式者が、100年前、ワイズ運動創設者のポール・ウィリアム・アレキサンダーが作成し、今も、国際協会公式に定められている就任式式辞をほぼフルバージョンで読み上げ、佐藤理事が式辞の内容を「約束します」と宣誓し、正式に理事に就任した。

その後、佐藤理事より今年度の主題、スローガンと4つの施策（地域奉仕・Yサ事業、会員増強事業、国際交流事業、ユース事業）が述べられた。

甲府21クラブとしては2012-2013年度の駒田勝彦理事（第16代）に次ぐ2人目の理事の輩出。

式の様子は甲府21クラブの小澤智之ワイズが4台のカメラで収録・編集。区のウェブサイトに掲載されている。



理事就任式・引継ぎ式は第22回区大会（2019年6月）までは対面の全員参加で実施されてきたが、それ以降はコロナ感染症の拡大の影響で、実施方法や内容の細部に若干の違いがある。

（板村哲也）



▼東京武蔵野多摩クラブ2022年7月例会報告

日時：2022年7月13日 午後7時～8時40分（ハイブリッド開催）

出席者（会場）：板村、出沼、中村、宮内、山口、渡辺
Zoom参加：伊佐、江夏、小林

スピーカー：岩本拓氏

久しぶりのスピーカーを招いての例会。オンライン参加も併せて、メンバー全員参加。まず感激。スピーカーは中村会長が東大大学院に特別研究生として赴任して以来の友人で、農学博士の岩本さん。

記憶に関する研究や、腸の免疫に関するものの研究などをされていたとのことだが、今回は「オーラルケアに関する話」を伺った。ポイントは①口の健康とオーラルケア ②口の健康と全身の健康

歯磨きは、8020(80歳で自分の歯が20本残っている)の考え方に象徴される歯を維持することのために行う。虫歯や歯周病の原因となる歯垢の除去が目的。朝・毎食後などタイミングよく歯磨きをすることが大事。また、最近注目されている「オーラルフレイル」との考え方は、フレイル(衰え)を防ぐことにより、健康を維持できる。自分の日常の変化をチェックすることで予防ができるとのこと。やる価値あり。

また、口の健康と全身の健康は関連しており、誤嚥性肺炎、糖尿病、狭心症・心筋梗塞、脳梗塞などとも関連が深い。オーラルケアを行うことで様々な感染症(インフルエンザやコロナも含め)の予防との関連が指摘されている。脳の活動との関連も強く、認知症予防にも関連があるとのこと。

以上を踏まえ結論として大事なこと。

オーラルケアは歯の健康を考え続けること。口の不具合は全身の様々な健康に関連している。→死ぬまで健康で活力ある生活を送るためには「歯を健全な状態で残すこと」「口の機能を低下させないこと」が大変重要でありオーラルケアが大変重要である。そのために、①自己流ではなく、正しいケアの方法を歯科でしっかりとレクチャーを受ける。②定期的な歯科検診の実施が重要との話を聞いてスピーチを終了した。

今まで歯のケアの大切さはなんとなく認識していたが、研究者の視点から様々なデータに基づく話を分かりやすく説明してもらえた。感謝である。

新年度最初の例会。お弁当も食べながら、中村会長の下の斬新な形式での例会は、大変良かったと感じた。

＜東京YMCA便り＞

▼ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート

6月24日に日本基督教団霊南坂教会で開催し約120名が来場。飯靖子氏（オルガン）、方波見愛氏（ピアノ）、飯頭氏（ヴィオラ）による演奏と、西山利佳氏（児童文学研究者）によるウクライナ民話絵本「てぶくろ」の朗読、松本数実国際・総合教育事業部統括より、ウクライナYMCAから届いた映像を交えながらYMCAのウクライナ支援活動について報告があった。終演後に募金協力を呼びかけ、217,325円が寄せられた。10月28日にもウクライナ緊急支援チャリティーコンサート第2弾を予定している。

▼ウクライナ支援募金報告

2022年3月に開始した支援募金は、10,593,797円が寄せられ、ウクライナYMCA、日本YMCA同盟、ヨーロッパYMCA同盟等を通じて、ヨーロッパ近隣諸国や日本で避難生活を送るウクライナの人々を支援するための活動に用いる。また、ウクライナの人々を励ますために、ウクライナYMCAのViktor Serbulov総主事に、東京YMCAスタッフ有志が作成したビデオメッセージを送った。今後東京YMCAの子どもたちからのメッセージ動画も送る予定。

▼今後の予定

8月中旬～9月「第25回会員芸術祭」（オンライン開催）
東京YMCAホームページ上に展覧作品の画像を掲載

（出沼一弥）

＜例会告知＞

9月例会卓話

「ポジティブ・ディシプリンの紹介」

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン チャイルド・ライツ・センター／国内事業部／海外事業部等を経て現在、特定非営利活動法人きづく (kids-ku) 代表

森 郁子氏

10月例会卓話

「オリンピックのお話し」

株式会社明治へ勤務、選手村のレストランのメニュー開発にも携わった。

高梨 淳子氏

今月および今後の行事予定

- 8月14日（日）15:00～ 8月例会（納涼例会）カフェネージュ
- 8月24日（水）19:00～ 第2例会（Zoom開催）
- 9月14日（水）19:00～ 9月例会 東京YMCA西東京センター（部長公式訪問）
- 9月28日（水）19:00～ 第2例会（Zoom開催）
- 10月12日（水）19:00～ 10月例会
- 10月15日（土） あずさ部部大会
- 10月26日（水）19:00～ 第2例会（Zoom開催）

